



はた しょう つむぎ 秦 荘 紬

愛 荘 町

カラフルで細やかな模様 柔らかな手触りは絹ならではの

近江商人により全国に名を馳せた近江上布の優れた技法を絹織物に応用し、丹念に織り上げたものが「秦荘紬」です。まず図柄案を作成し、それをもとに染色する部分を示す羽定期を作ります。木の枠に、平らな糸面を作るように糸を慎重に巻き、この糸面に染料を付けた櫛を押し付けるようにして染色していきます。この独特の染色法によって、カラフルで細やか、滲むように柔らかな縞(かすり)模様が生まれます。伝統を守りつつ、図案を現代風にアレンジしたり、縞の大きさや色を変えてみたりと、時代に合った柄を生み出し続けています。熟達の職人による独自のデザインが、秦荘紬を一層魅力的なものにしています。



こたえ と 豆知識

せんしよく A. 染色

櫛をスタンプのように押しつけて染める、櫛押し捺染という技法だよ！

川口織物有限会社

〒529-1212 愛知郡愛荘町元持576-2

TEL:0749-37-3091

一般販売は行っていません。

詳しくは上記へお問い合わせください。

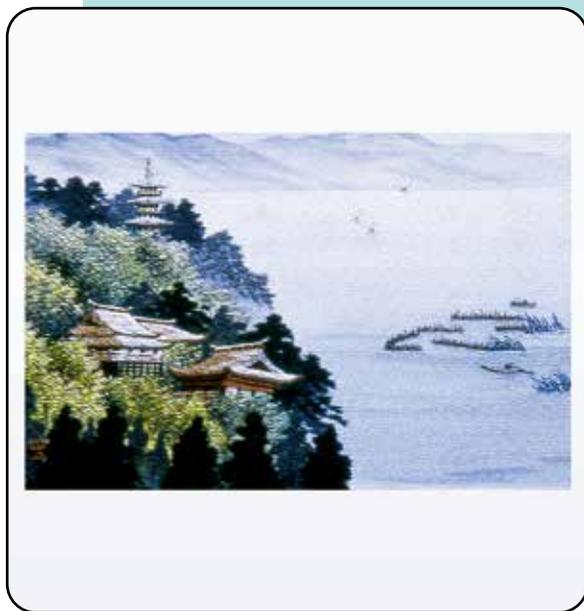
おう み し しゅう 近 江 刺 繍

愛 荘 町



美術刺繍としての至高 絵に見紛うほどの近江刺繍

明治時代に入谷佐太郎氏が優れた刺繍技術である近江美術刺繍を考案しました。刺繍織りという特殊な織り生地の上に絵を描くことで刺繍を施したように見せ、主要部分のみ刺繍をして仕上げられたものです。



こたえ と 豆知識

え ししゅう りょうほう A. 絵と刺繍の両方

布に絵をいかいたり、刺繍したり、絵と刺繍が合体したものだよ！

近江美術刺繍工芸社

〒529-1313 愛知郡愛荘町市1312-14

TEL : 0749-42-2686

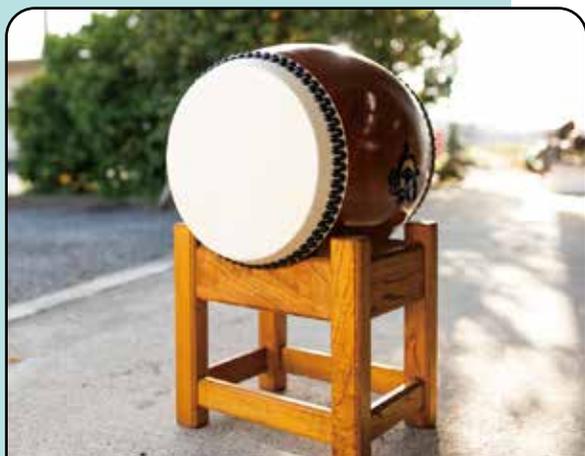


たいこ 太鼓

愛 荘 町

美しい音が鳴り響き、
何十年も壊れないのが本物の太鼓

石灰分を多く含んだ良質な愛知川の地下水は皮の鞣(なめ)しに最適で、太鼓制作は江戸時代に始まったとされています。太鼓の皮には、若い雌牛の皮が最適です。皮が傷みにくい冬場に、川の水にさらしながら1か月かけて鞣(なめ)し、脱毛して自然乾燥させます。化学薬品を使って鞣された皮は5年ほどで破れてしましますが、昔ながらの鞣し方をするると30～40年も長持ちし、音もとても良いものです。鞣し終えた皮は、太鼓の胴に張っていきます。張り具合によって全く音が異なるため、長年の経験を持った職人の技術が欠かせません。機械化できる工程がなく、全てを職人の手仕事で行っています。



こたえ と 豆知識

A. ^{うし}牛
うし かわ あつ かんよう たた
牛の皮は、厚くて頑丈。たくさん叩いても
やぶ 破れることはなかなかないよ。

- 二代目 杉本才次 (杉本太鼓商)
- 〒529-1301 愛知郡愛荘町山川原242-1 TEL:0749-43-5504
- 正木 專治郎 (正木太鼓店)
- 〒529-1301 愛知郡愛荘町山川原83-1 TEL:0749-43-3072
- 事前に連絡をいただければ、
- 見学を受け付けています。

え ち がわ ざい く て 愛知川びん細工手まり

愛 荘 町



瓶の中にカラフルな手まり
不思議な姿が愛らしい

丸いガラス瓶の中に、その口よりも大きな手まりが入っています。瓶の中にどのようにまりを入れるのかは秘伝の技。ガラス瓶が丸く、中が良く見えることから、「家族円満」や「仲良く」というイメージにつながり、嫁入り道具などの縁起物として重宝されてきました。まずは球体のまりを作り、そこに刺繍を行います。まりの模様は幾何学模様で成り立っており、等分に線を引き、ピンを打って糸を刺繍していきます。球体に刺繍をするのはかなり難しく、高い技術が必要です。瓶の中に、色とりどりの刺繍を施した手まりが入った姿はなんとも不思議で、とても可愛らしい姿です。保存会が毎月研究会を開き、伝統の継承に務めています。



こたえ と 豆知識

A. ^{わた}綿
なか わた はい
中にはしっかり綿が入ってるよ！
どうやって瓶に入れるんだろうね…。

- 伝承工芸 愛知川びん細工手まり保存会
- 〒529-1313 愛知郡愛荘町市1673
- TEL:0749-42-4114 (愛知川びんてまりの館)
- るーぶる愛知川やオンラインショップで購入
- 入できます。制作体験も行っていきますので、
- お問い合わせください。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

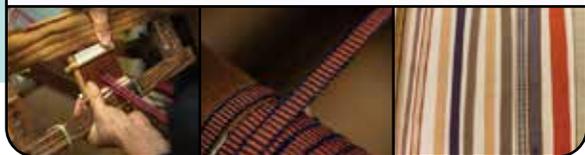


て おり き な だ ひ も 手織真田紐

東近江市

世界一細い織物といわれる、
丈夫で美しい手織り紐

大坂の陣で活躍した真田幸村が考案したといわれています。経糸(たていと)と緯糸(よこいと)織った細長く平らな織物で、幅は6ミリ〜50ミリほど。世界一細い織物といわれています。緯糸を手でしっかりと打ち込み、圧縮しながら織られるので、伸びにくく丈夫なのが特徴です。古くは刀の下げ緒や甲冑紐、また荷物を縛ったり、重いものを吊るしたりする生活道具としても使われてきました。“茶聖”と呼ばれた千利休は、茶道具入りの木箱に真田紐をかけ、目印にしていたといわれています。現在は、時代に合わせて帯締めやアクセサリなども制作しています。図案はなく、代々受け継がれた見本を基に、日々新しい図案を考え、手織りで作り続けています。



こたえ と 豆知識

おりもの
A. 織物
しよつき お つく
織機で織って作られる
せかいいち ほそ おりもの
世界一細い織物といわれているよ!

西村 操 (幸道庵)

〒527-0082 東近江市上羽田町613

TEL:0748-22-2652

作品は基本的にオーダー制です。

詳しくは上記へお問い合わせください。

おさ むら ぼん しょう 長村梵鐘

東近江市



心地良い音を追求する
職人の技が光る

長町の鑄物の歴史はおおよそ700年といわれ、古くから鑄物師の村として知られていました。鑄型を2つ作り、重ね合わせた時に出来る隙間に溶けた金属を流しこむ「惣型法(そうがたほう)」を用いて制作しています。完成した鑄型に1,300度に溶かした金属を流し込むのですが、このタイミングによって強度や音質が全く違うものになります。人が心地良く聞こえる鐘の音は、1秒間に127回鐘が振動したときといわれており、それを実現できるよう、日々職人たちが技を磨いています。愛荘町の東漸寺をはじめ、奈良の薬師寺、長野県の聖光寺など、全国各地の寺院の梵鐘に長村梵鐘が使われています。また、エルサレムや台湾など、海外にも多く輸出しています。



こたえ と 豆知識

かい
A. 127回
かいしんどう
1秒間に127回振動したときが
ほんよ おと
一番良い音とされているよ!

株式会社金壽堂

〒527-0122 東近江市長町273

TEL:0749-45-0003

基本的には受注生産です。

詳しくは上記へお問い合わせください。



お ばた にん ぎょう 小 幡 人 形

東 近 江 市

400年受け継ぐ型から生まれる 愛くるしい表情の人形たち

近江商人発祥の地でもある地域で、中山道を往き来する人々に向けて土産物や子供のおもちゃとして人気が高まりました。代々伝わる人形の型に粘土を入れ、乾燥させ、型から粘土を抜き、釜で焼きます。焼いた人形に胡粉を塗り、一筆ずつ彩色して完成します。工程はすべて手作業なので、乾燥から完成までは約3か月かかります。先祖代々受け継ぐ型は400近く。招き猫や福助などの縁起物から、節句人形、玉子売り鶏、三味線を弾く猫、風刺人形など、幅広い種類があります。青やピンクといった鮮やかな原色を使用するのが特徴で、そこに職人が時代に合わせた表情を描いています。干支の人形は、年賀状の切手に何度も採用されています。



こたえ と 豆知識

かきから
A. カキの貝殻
しろ したじ うえ
この白い下地の上から
カラフルな色に塗っていくよ。

細居 源悟

〒529-1422 東近江市五個荘小幡町808
TEL:0748-48-4075

オンラインで購入可能です。事前予約頂ければ、
工房見学も受け付けています。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

ごう しゅう 江 州 よ し す だ れ

東 近 江 市



熟練職人が編み上げる 日本一の品質『江州よしすだれ』

湿地に生息するイネ科の多年草、葦(よし)は、しなやかさと強度が特徴的です。琵琶湖に多く自生していたことから、近江では葦産業が古くから盛んで「すだれ」「屋根」「天井」など、人々の暮らしと共にありました。別名が「あし=悪し」に通ずることから「良し」に通ずる「よし」の呼び名が生まれました。近江八幡の水郷は、日本三大水郷のひとつ「豊葦原(とよあしはら)の里」と言われ、戦国時代には、葦が年貢として納められていたほど日本一の品質を誇っています。熟練の職人がその目と長年の感覚で、1本1本丁寧に選別し手作業で丹念に「すだれ」を編み上げていきます。美しい色味のために、30年寝かせるものもありこだわり抜いた唯一無二のすだれとなります。



こたえ と 豆知識

よし
A. 葦
よし か しくぶつ くき
葦というイネ科の植物の茎を
あ 編んで作られたもの

株式会社タイナカ

〒521-1242 東近江市福堂町1426 TEL:0748-45-0336

よし藤 田井中憲一

〒521-1242 東近江市福堂町3189 TEL:0748-45-0165

作品は基本的にオーダー制です。
詳しくは上記へお問い合わせください。



ホームページ
QRコード



押し絵細工

近江八幡市

ふんわりとした布の厚みと柔らかさが見せる
華やかさが魅力

八幡押絵は、江戸時代、彦根城の大奥女中が手なくさみに金襴緞子長浜ちりめんを使って作ったのが始まりで、その後町屋の女子のたしなみのひとつとして広まったとされています。二代目・東川正蔵の母が学び受け継いだ押し絵細工は、下絵を線描きし、その上に綿の布きれを重ね張りし、友禅柄などの彩色がされます。細部にわたる押し絵と上絵付により、とても華やかに仕上がります。小箱から衝立までサイズは様々あり、製作に数か月を要する製品もあります。



こたえと豆知識

め
A. ②布
め わた
布に綿をくるんだ部品を、組み合わせて
りったいき え
立体的な絵のように見せているよ。

東川 雅彦 (東川手芸所)

〒523-0847 近江八幡市永原町元4

TEL:0748-32-2254

店頭にて、展示販売しています。

詳しくは上記へお問い合わせください。

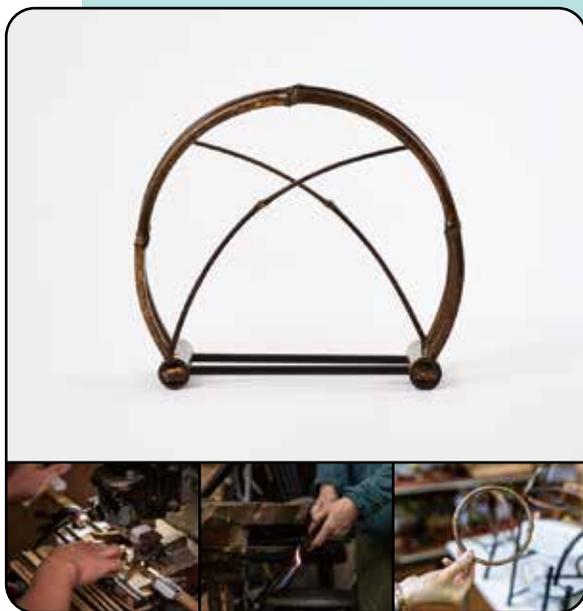
八幡丸竹工芸品

近江八幡市



竹を美しく加工する技術は、
50年で一人前

琵琶湖に注ぐ河川沿いには多くの竹林があり、その竹を使った加工品を農家が冬の間の生業としていたのが始まりといわれています。竹は天然のものなので、当然ながら曲がっているものがあります。無理に曲げると縦に割れてしまうため、竹に火をあて、適当な形になるよう徐々に力を加えていきます。竹が焦げてしまわないよう、慎重にゆっくりと過熱・整形。求める形まで整うと、水につけて冷まし、形を固定します。天然の竹は1本ずつ形が異なるため、曲げ加工時の熱の加減がとても難しく、職人は20年以上の経験があってもまだまだ、50年以上でやっと一人前といわれています。竹は軽くて燃えにくいいため、祭りの提灯の一部として依頼が多く寄せられています。



こたえと豆知識

たけ ひ
A. 竹を火であぶりながら曲げる
ま
曲げたい所を、火であぶりながら
すこ
少しずつ曲げていくよ。

有限会社竹松商店

〒523-0894 近江八幡市中村町703

TEL:0748-33-3268

ネットショップで購入することができます。

オーダーも受け付けています。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

KOTO



木珠 (高級木製数珠玉)

近江八幡市

一粒一粒磨き上げられた木の珠は
宝石のような輝き

木珠とは木製の数珠玉のことで、近江八幡市は、約1400年の歴史を持つ木珠製造のふるさとです。聖徳太子の時代に基礎が築かれ、江戸時代に特産品となり、現在でも全国シェアは70%にのぼります。木珠の素材となるのは、桜などの日本の木から、カラフルな色が特徴な南米産の木まで、世界各地の銘木です。伝統技術を守り続けると同時に、木珠を生活に密着した道具として残していくことを目指しています。そのため、数珠だけでなく、アクセサリやインテリアなど、幅広い商品を製作しています。一粒ずつ丁寧に磨き上げられた珠は、まるで宝石のような美しさです。使い込むほど深い艶が出るため、長く愛用することができます。



こたえと豆知識

A. 焼き芋のにおい
南米の木はカラフルで、削るとお菓子
みたいな甘い香りのする木もあるよ!

株式会社カワサキ

〒523-0894 近江八幡市中村町690

TEL:0748-33-5101

数珠やプレスレットの製作体験を行っています。オンラインショップでも販売しています。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

木製桶樽

竜王町

ぬくもりや質感の良さは
木だからこそ

竜王町において桶・樽が製造され始めた歴史は明らかではありませんが、明治から戦前にかけて当地(旧鏡山村・苗村)では15軒余りが桶・樽づくりをしていたとされています。戦後、プラスチック容器が普及するとともに木桶づくりは少なくなりました。工程の中では特に勾配をつける作業に熟練の技を要します。木の温もりと手作りの温もりが伝わってくる製品です。種類にもよりますが、製作には2~3か月かかるものもあります。



こたえと豆知識

A. 木片を組み合わせる
たくさんの木を削る道具を使って、
職人技でつなぎ合わせて丸にしているよ。

村田 茂明

〒520-2511 蒲生郡竜王町林569

TEL:0748-57-0650

道の駅竜王かがみの里にて販売しています。

KONAN 湖南

甲賀市・野洲市・湖南市・大津市・守山市・草津市・栗東市

東海道・中山道の宿場町・湖上交通の要衝として古くから栄えた地域です。

東海道のお土産品として江戸時代人気を博した大津絵、京や江戸への献上品であった膳所焼や雁皮紙、

また、大昔の琵琶湖があった古琵琶湖層から取れる良質な粘土からなる信楽焼など、様々な工芸品があります。

紫式部が源氏物語を起筆したといわれる石山寺、松尾芭蕉がその景観を好み、墓も建つ義仲寺、

日本天台三総本山といわれる比叡山延暦寺、三井寺(園城寺)、西教寺など

歴史的建造物も多く、自然・歴史・文化が調和しています。



体験・見学施設等



1 圓滿院(大津絵美術館)

大津市園城寺町33
TEL:077-522-3690

大津絵



2 びわ湖大津館(旧琵琶湖ホテル)

大津市柳が崎5-35
TEL:077-511-4187

草木染手組組紐



3 十二坊温泉ゆらら

湖南市岩根678-28
TEL:0748-72-8211

近江下田焼

しが らき やき
信楽焼

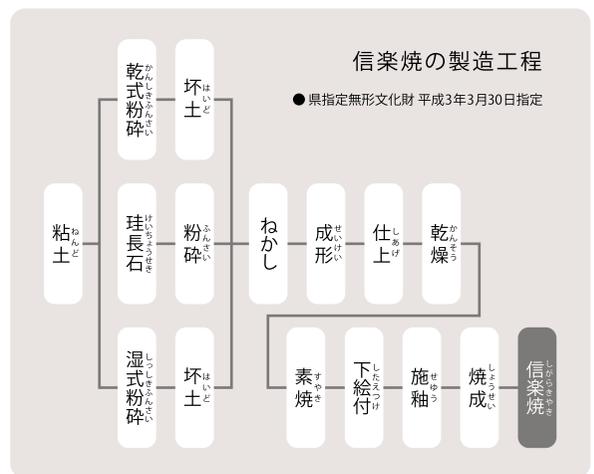


甲賀市



素朴な土の風合いが楽しめる
「日本六古窯」のひとつ

滋賀県甲賀市信楽町周辺で作られる陶磁器で、鎌倉時代に始まったとされる「日本六古窯」の一つです。琵琶湖の400万年前の良質な粘土層から、ほどよい粘り気とコシのある耐火性に優れた粘土が取れたこと、また豊富な燃料があったことから、焼き物が盛んになりました。釉薬を施さず、薪窯で何日もかけて1,200度もの高温で焼き締めます。焼成時の窯の中での位置や炎のまわり具合・温度・土に含まれた成分などの違いで風合いが変わり、様々な表情を楽しむことができます。縁起物のタヌキが有名ですが、食器をはじめ、花瓶・植木鉢・置物・傘立や浴槽・タイルなど、さまざまな種類があります。



こたえと
豆知識

メートル
A.2m
しがらき ねんど の よ
信楽の粘土は、伸びの良さとこしがある
ので、大きなものを作ることができるよ。

信楽陶器工業協同組合

〒529-1811 甲賀市信楽町江田985
TEL:0748-82-0831

各窯元、組合にお問い合わせください。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード



みこし
神輿

野洲市

伝統を継承し培われた 技の輝きに包まれた神輿

全国の神輿制作を行っている県内唯一の神輿制作会社「さかい」。1994年には日本最大級の神輿(岐阜県高山市)の製作も手がけました。神輿の製造・修理だけでなく、国宝・彦根城や比叡山延暦寺の相輪塔の修繕など、全国各地の寺社仏閣の修繕さまざまな依頼が同社の元にやってきます。頭の中に設計図を描きながら解体修理に当たるといふ、今までの経験のなせる業。天然国産漆100%を用いた漆塗りを現在でも行っていて、数か月でできるものもあれば数年かかるものもあるといわれています。



こたえ
と
豆知識

かみさま
A. 神様
まつ とぎ かみさま みこし の
お祭りの時は、神様をお神輿に乗せて、
まち ね ある
町を練り歩くよ!

株式会社さかい

〒520-2331 野洲市小篠原7-1

TEL:077-587-1178

詳しくは上記へお問い合わせください。



ホームページ
QRコード

しょう あい ぞめ
正藍染

湖南省



植物から生まれる染料

同じ色は二度とない美しい藍色

自然に発酵させた藍液を使っている、全国でも数少ない染物です。原料である蓼藍(たであい)の栽培から行っており、刈り取った葉を100日間発酵させ、藍液を作っていきます。藍液の温度によって染まり具合が左右されるため、温度管理はかなり重要です。煮やさず冷やさずの状態を保てるよう、長い経験を持つ職人が目を配っています。染めでは、薄い液から濃い液へと繰り返し染めていき、染めを重ねるごとに、薄藍・藍・紺・濃紺と濃い色になっていきます。天然のものなので、同じ色は二度と作ることができません。こだわり抜いた原材料と製法から生まれる美しい藍色はとても印象的で、全国のデザイナーやアパレル会社から依頼が寄せられています。



こたえ
と
豆知識

ちやいろ
A. 茶色
あい えきたい じつ ちやいろ くう き ほんのう
藍の液体は実は茶色。空気と反応する
ことで、きれいな藍色になるよ!

植西 恒夫 (紺喜染織)

〒520-3201 湖南省市下田1530-1

TEL:0748-75-0128

オリジナルハンカチの藍染め体験など、ワークショップを行っています。事前にご予約の上お越しください。



おうみしもだやき 近江下田焼

湖南市

素朴な柄と深い藍色が伝える 伝統と新しさ

1750年頃に生まれたとされる下田焼は、素朴な柄と呉須(ごす)の深い藍色が特徴です。下田地域から白い良質な土が取れたことが、近江下田焼の始まりといわれています。顔料である呉須の配合は、窯元に代々伝わる伝統的なものです。昔ながらの製法・絵柄を大切にしながらも、濃い藍色を生かしたシンプルなデザインからは、現代に通じる新しさも感じます。手に取った時に感じる温もりや柔らかさ、滑らかな口当たりは、機械には出すことができない手作業ならではの独特の丸み。約1,280度という高温で焼き締めているので割れにくく、電子レンジでも使用することができます。



こたえ と 豆知識

たいこん
A. 大根おろし
ひとつひとつ手で立てた突起で大根をする
ととてもおいしく大根がおろせるよ!

近江下田焼陶房

〒520-3111 湖南市東寺2-11-9

TEL:0748-77-7457

1個からオーダーを受け付けています。工房では、
絵付け体験・作陶体験を行っています。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

くさきぞめてぐみくみひも 草木染手組組紐

大津市

草木で染めるところから始まる 美しい組紐

絹100%、草木染め、手組みで作られている組紐です。草木染めで絹糸を染め、その糸を織ってまとめ、組台にセットして紐を組んでいきます。三角台・綾竹台(あやたけだい)・内記台(ないきだい)など組台によって組み方は異なります。江戸時代には町のあちこちで内記台を使って紐を組む音が響いていましたが、現在ではほとんど見られなくなり「幻の組台」といわれています。草木の染料には多くの不純物が含まれており、それによって、淡く渋みのある色が出ます。組紐は無数の糸を組み上げて作られており、丈夫で模様が美しいのが特徴です。古くは巻物の紐や袷染の紐、特に刀の下げ緒や武具に多く用いられてきました。現在では、帯締めや羽織紐に多く使われています。



こたえ と 豆知識

きいろ
A. ②黄色
たま ちやろい うすかわ
玉ねぎのあの茶色い薄皮から
とても鮮やかな黄色が生まれるよ。

有限会社藤三郎紐

〒520-0054 大津市逢坂1-25-11

TEL:077-522-4065

組紐や染色の体験会を実施しており、スト
ラップやハンカチの草木染めなどを体験で
きます。詳しくは上記へお問い合わせください。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード



膳所焼

大津市

和にも洋にも馴染む 深い黒み

大津市で焼かれる陶器で、素朴な形と黒みを帯びた色合いが特徴で、とても薄く、軽い焼き物です。ねっとりとした細かい白土に、鉄錆のような色合いの金気釉を素地にかけ、その上から濃い黒釉や黄色の鉛釉などをかけています。江戸初期、膳所焼は将軍家御用達の茶陶として、茶人 小堀遠州(こぼりえんしゅう)が「綺麗さび」という美意識を基に、指導し多くの茶入・水指が作られたのが始まりです。明治時代に一度途絶えましたが、大正時代に復興しました。遠州七窯の茶陶の一つとして名高く、茶入や水指に優れたものが多く見られます。「工芸」から「アート」作品へのブランディングを構築するために、現代アーティストとのコラボ作品の企画なども取り組んでいます。



こたえと 豆知識

A. 1,250度
1,250度もの高い温度で焼くことで、
他の焼き物に比べると強度があがるよ!

有限会社膳所焼窯元(陽炎園)

〒520-0837 大津市中庄1-22-28

TEL:077-522-6374

工房訪問は事前アポイント制となっています。

詳しくは上記へお問い合わせください。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

近江雁皮紙

大津市

文字を書くために生まれてきた和紙 世界が絶賛する「紙王」

原材料である落葉樹の「雁皮(がんび)」の樹皮は繊維がとても細かいため、絹のようになめらかで光沢ある質感の紙が生まれます。美しいだけの紙ではなく、強靱で耐久力が強く、永久保存に耐えられるといわれています。害虫に強く変色しにくい文化財の補修にもよく用いられ、雁皮紙に書かれた文化財が数多く博物館に収蔵されています。しかし、雁皮の栽培は難しく、節を取り除くには通常の3倍の手間がかかります。雁皮を処理し、一枚ずつ和紙職人が漉(す)いていきます。とても薄い和紙なので、皺なく伸ばすのもかなり時間がかかります。



こたえと 豆知識

A. 職人さんの指の跡
何年も同じ道具、同じ使い方をして
いるから、道具に指の跡ができたよ!

有限会社成子紙工房

〒520-2111 大津市桐生2-14-26

TEL:077-549-0323

ネットショップ、紙小売り店でも購入可能です。

詳細は上記へお問い合わせください。



ホームページ
QRコード



おおつえ
大津絵

大津市

あえて江戸時代の風合いを再現 考えさせられる絵柄が魅力

江戸時代に、土産物として描き売られていた民画が始まりです。当時安価だった和紙の半紙に泥を塗って補強し2枚つなげ、建築塗料などで描いていました。現代の塗料の方が色鮮やかで安価ではありますが、あえて手間ひまをかけ当時の雰囲気再現しています。当初は数百種類以上のモチーフがありましたが、売れる絵だけを描き続けた結果、代表的な「鬼絵」や「藤娘」など、およそ100種類が残りました。「猫とねずみ」の図柄は、あのピカソも所蔵したといわれています。ユーモラスで風刺のきいた絵柄、そして独特の鮮やかな彩色からは、ポップさも感じられます。首をひねって絵の意味を考える……。そんなふうに、絵をじっくり楽しむことができるのが大津絵の魅力です。



こたえ
と
豆知識

ひらねやし
A. 終鰯
も
ネズミの持っている魔よけの
ひらねやし
こわ
終鰯を怖がっているよ。

高橋 松山 (株式会社大津絵の店)

〒520-0034 大津市三井寺町3-38

TEL:077-524-5656

店頭にて販売しています。

詳しくは上記へお問い合わせください。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

いぶし鬼瓦

大津市

人々の願いを込めた瓦が 建物を彩る

小田原城や清水寺、本能寺など、全国各地の社殿等で使われている瓦です。「鬼師」と呼ばれる職人が、土づくりから図面引き・成形・乾燥・窯焚きまで行っています。焼成が終わった後に瓦をいぶすことで、「いぶし銀」といわれる自然に近い色になるのが大きな特徴です。また、瓦を中まで炭化させることで、強靱さも増します。瓦は人間が作るものの中で一番長く保つといわれ、もとは建物を風雨から守るためのものでした。それに装飾を施したのが鬼瓦です。厄払いや魔よけのための鬼面、七福神や宝珠などの縁起物、家紋など、様々なモチーフがあります。どれも人々の願いが込められたものです。

こたえ
と
豆知識

ぎんいろ
A. 銀色
なか
中までちゃんと職人技で
いぶされて銀色だよ。

美濃邊鬼瓦工房

〒520-0104 大津市比叡辻1-10-8

TEL:077-578-5333

「滋賀の名品」等のウェブサイトで購入できます。

また、滋賀県内の道の駅でも販売しています。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

KONAN



つづれにしき
綴錦

守山市

美術品として愛されてきた 最高級の織物

結納時の袱紗(ふくさ)や着物の帯、祭礼用の幕地や舞台綴帳など、ハレの日を彩る織物です。手織り物の中でも特に高い技術が求められるため、朝廷や徳川幕府に献上されるなど、日本最高峰の芸術品として愛されてきました。特徴的なのは、中指と薬指の爪をノコギリ状に研ぎ、糸を1本ずつ掻き寄せて複雑な模様を表現する「爪掻き本綴(つづれ)」技法です。1日に1センチしか織れないような複雑な模様もあり、完成まで数か月かかるのも珍しくありません。人の手だからこそ生み出される美しい表情は、まるで筆で描いたよう。機械では決して表現できないグラデーションは、まさに最高級の織り技法です。



こたえ
と
豆知識

A. シャトル

いと ぬい
たて糸の間をこのシャトルが
さ ゆうおうふく
左右往復して、よこ糸を通すよ!

織匠【宗八】株式会社清原織物

〒524-0011 守山市今市町136-1

TEL:077-583-5711

工房・オンラインショップ・

セレクトショップなどで購入できます。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

滋賀を楽しむコンテンツ紹介

知る

滋賀県の 伝統的工芸品について

滋賀県の伝統的工芸品の滋賀県庁公式ページです。イベント情報、補助金等の県公式情報はこちらから。
公式パンフレットのダウンロードもこちらから！



映像

滋賀県 イノベーション推進課公式

滋賀県商工観光労働部イノベーション推進課の公式YouTubeチャンネルです。
滋賀県の伝統的工芸品を映像で紹介。英語バージョンも公開しています。



体験

シガリズム体験

滋賀の時間の流れ、営み、歴史、伝統などをより深く体験・体感することで心のリズムを整える旅「シガリズム」の体験観光コンテンツを紹介。伝統的工芸品の体験も盛りだくさん！



観光

滋賀・びわ湖 観光情報

滋賀県の公式観光サイト『滋賀・びわ湖観光情報』。観光スポット、イベント、グルメ、ショッピング、宿泊情報など、滋賀への旅行やお出かけに役立つ情報が満載！



KONAN

KOSEI 湖西

高島市

琵琶湖の北西部に位置し、古来より京都と北陸を結ぶ街道として栄えた地域。

そのため、京都とのつながりも多く、京扇子には欠かせない高島扇骨や、献上品でもあった書道用具、和ろうそくなどが有名です。

「琵琶湖とその水辺景観」が日本遺産に認定され、文化的景観として、白鬚神社やシコブチ信仰が構成遺産として選ばれています。



体験・見学施設等



1
高島市観光物産プラザ
(たかしま・まるごと百貨店)
高島市新旭町旭1-10-1 1F TEL:0740-25-5500



2
道の駅 藤樹の里あどがわ
高島市安曇川町青柳1162-1
TEL:0740-32-8460 高島扇骨



高島扇骨

高島市

職人から職人へ

丁寧な仕事が柔らかな風を生む

「扇骨」とは扇子の骨のことで、全国シェアの9割を高島扇骨が占めています。扇子の一番外側の厚みのある2本の骨を「親骨」、内側の薄く枚数の多い骨を「中骨」といい、制作工程は親骨18・中骨16にもおよびます。工程ごとに職人から職人へと作業が移っていく分業体制です。独特のしなりを生むために、適度な弾力がありつつ柔らかい竹を選ぶこと。繊細な薄い竹の皮を丁寧に扱うこと。色にばらつきのある天然の竹を、ひとつの扇子の中でグラデーションが生まれるよう色合わせをすること。熟練の技術が必要な工程ばかりです。硬すぎず柔らかすぎない、扇骨のほどよいしなりがあることで、扇子から心地良い柔らかな風が生まれます。



こたえと豆知識

せんす ほね おつか しよくにん
A. 扇子の骨を扱ってる職人さんのこと
 昔は、たくさん扇骨職人さんがいて
 お互いにそう呼び合ってたよ！

滋賀県扇子工業協同組合

〒520-1217 高島市安曇川町田中89

TEL:0740-32-1580

道の駅「藤樹の里あどがわ」で購入や
 扇子づくり体験をすることができます。



動画 QRコード

雲平筆

高島市



用途に合わせた毛を選ぶところから始まる 400年続く伝統技法

筆の中心となる芯毛を上質の和紙で巻き固め、その周りに上毛(うわげ)をかけて穂を作る、400年の歴史を持つ筆の技法です。まず、筆の用途に合わせて原毛を選びます。イタチやウサギの毛、馬の尻尾、ヤギの鬃など、候補はおおよそ20種類。毛が決まると、その油を取るために灰を揉み込みます。櫛をかけ、擦れ毛を取り除き、長さを切り揃え、数日かけて乾かし、一番の特徴である和紙で巻く工程へ。この巻き方は一子相伝です。接着剤がない時代の作り方なので、最後には麻糸できつく結んで留めます。一般的な筆よりもコシが強く、力強い筆線が出るのが特徴で、多くの書道家に愛用されています。



こたえと豆知識

だいぶつさま め か
A. 大仏様の目を書くよ
 大仏様の目を書くのに使われるから
 こんなに大きいんだね！

筆師第15世 藤野 雲平 (攀桂堂)

〒520-1224 高島市安曇川町上小川190-6

TEL:0740-32-0236

店頭のほか、ネットショップでも購入可能です。
 また、予約制の工房見学も実施しています。事前
 にお電話の上お越しください。



ホームページ QRコード



動画 QRコード



わ 和ろうそく

高島市 / 長浜市

100%植物性のろうそく 人にも環境にもやさしい灯り

ウルシ科の植物である榧(はぜ)の実から搾った榧蠟(はぜろう) 100%のろうそくです。植物性のろうそくは、石油系のろうそくと比べて環境負荷が少なく、近年注目が集まっています。「生蠟手掛け製法(しょうろうてがけせいほう)」は伝統的な製法で、現在、この技を持つ職人は世界に10人ほどといわれています。40度に保った蠟を素手ですくい取り、芯を右手で回転させながら塗り重ねていきます。「塗る」「乾かす」を繰り返すことで、芯の周りに年輪状に蠟の層ができていきます。榧蠟を使ったろうそくは、炎の揺らぎが美しく、心情に共鳴して揺れ動くように感じられます。また、煙やおいが少なく、人にも環境にもやさしいろうそくです。



こたえ と 豆知識

A. てのひらではかる
なんほんの
てのひらに何本乗るかで
ふと き
太さを決めているよ。

- ・ 有限会社大興：〒520-1623 高島市今津町住吉2-5-8
- ・ TEL:0740-22-0557
- ・ 北村 雅明：〒526-0023 長浜市三ツ矢町2-22
- ・ TEL:0749-62-1074
- ・ 工房・オンラインショップ・
- ・ セレクトショップなどで購入できます。



ホームページ
QRコード



動画
QRコード

滋賀の伝統的工芸品

発行：滋賀県商工観光労働部イノベーション推進課

滋賀県大津市京町4丁目1番1号

TEL:077-528-3791

写真提供：彦根城・琵琶湖・金剛輪寺・白鬚神社・浅井町歴史民俗資料館・長浜曳山祭・日吉山王祭・万灯祭・愛荘町立歴史文化博物館・彦根城博物館・るーぶる愛知川・びわ湖大津館(旧琵琶湖ホテル)・一二坊温泉ゆらら / (公社)びわこビジターズビューロー、滋賀県立陶芸の森 / 公益財団法人滋賀県陶芸の森、八幡掘まつり / 近江八幡観光物産協会、琵琶湖疏水・大津祭 / びわ湖大津観光協会、メタセコイア並木・高島市観光物産プラザ(たかしま・まるごと百貨店)・道の駅藤樹の里あどがわ / びわ湖高島観光協会、圓滿院(大津絵美術館) / 圓滿院

令和5年(2023年)3月 初版発行
令和5年(2023年)9月 第2版発行
令和6年(2024年)3月 第3版発行
令和6年(2024年)9月 第4版発行

伝統的工芸品について

長い歴史の中で培われ、地域の人々の生活と密着しながら受け継がれてきた工芸品を、滋賀県知事、経済産業大臣が伝統的工芸品として指定しています。



知事指定 滋賀県伝統的工芸品

伝統的工芸品の振興を図るため、「滋賀県伝統的工芸品指定要綱」に基づき次の要件を満足するものについて知事が指定します。現在、37品目、43製造者の方が指定を受けています。

01 主として日常生活に使われるもの

02 製造工程の主要部分が手工的であるもの

03 伝統的な技術または技法により製造されるもの

04 伝統的に使用されてきた原材料を使い製造されるもの



伝統マーク / 承認番号R5-059

経済産業大臣指定 伝統的工芸品

昭和49年5月に制定された「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき経済産業大臣が指定するもので、下記の要件を満足することが必要です。県内では、彦根仏壇、信楽焼、近江上布の3工芸品が指定されています。全国では、伝統的工芸品237品目、伝統的工芸材料2品目、工芸用具1品目が指定されています。

※この伝統マークは、経済産業大臣指定伝統的工芸品のシンボルマークです。

01 主として日常生活に使われるもの

02 製造工程の主要部分が手工的であるもの

03 伝統的な技術または技法により製造されるもの

04 伝統的に使用されてきた原材料を使い製造されるもの

05 一定の地域で産地形成しているもの(10企業以上、または30人以上の人が製造に従事)

伝統的工芸品一覽 (経済産業大臣指定伝統的工芸品を含む)

区分	工芸品名	製造業者名	製造地域	電話番号	指定	掲載頁	
織物・染織・組みひも・刺繍など	近江上布★	滋賀県麻織物工業(協)	愛荘町	0749(42)3246	国	19	
	網織紬	奥田武雄	長浜市	0749(76)0733	②	10	
		奥田重之		0749(76)0369			
	秦荘紬	川口織物(有)	愛荘町	0749(37)3091	①	20	
	綴錦	織匠[宗八](株)清原織物	守山市/米原市	077(583)5711	①	32	
	正藍染	植西恒夫	湖南市	0748(75)0128	②	28	
	手織真田紐	西村操	東近江市	0748(22)2652	②	22	
	草木染手組組紐	(有)藤三郎紐	大津市	077(522)4065	②	29	
	近江刺繍	近江美術刺繍工芸社	愛荘町	0749(42)2686	②	20	
	彦根	(有)青木刺繍	彦根市	0749(22)1258	⑥	18	
	楽器系		西山生糸組合	長浜市	0749(82)4114	①	10
			木之本町邦楽器原系製造保存会		0749(82)2935		
			丸三八シモト(株)		0749(82)2167		
	鼻緒	滋賀県花緒サンダル組合	長浜市	0749(62)1162 ^{*1}	①	11	
特殊生糸	西村英雄	長浜市	0749(76)0236	①	11		
押絵細工	東川雅彦	近江八幡市	0748(32)2254	①	24		
近江真綿	近江真綿振興会	米原市	0749(54)0672 ^{**2}	②	14		
輪奈ビロード	(株)タケツネ	長浜市	0749(62)0310	⑧	12		
陶器	信楽焼★	信楽陶器工業(協)	甲賀市	0748(82)0831	国	27	
	膳所焼	(有)膳所焼窯元陽炎園	大津市	077(522)6374	②	30	
	近江下田焼	近江下田焼陶房	湖南市	0748(77)7457	⑥	29	
	(再興)湖東焼	中川一志郎	彦根市	0749(24)6711	⑧	18	
木・竹工品	提灯	かさぜん中川澄美	長浜市	0749(62)1187	⑦	12	
	ろくろ工芸品	片山木工所	長浜市	0749(62)9804	①	13	
	木製桶樽	村田茂朋	竜王町	0748(57)0650	②	25	
	高島扇骨	滋賀県扇子工業(協)	高島市	0740(32)1580	④	34	
	上丹生木彫	上丹生木彫組合	米原市	0749(54)0267	⑤	15	
	八幡丸竹工芸品	(有)竹松商店	近江八幡市	0748(33)3268	⑦	24	
	木珠(高級木製数珠玉)	(株)カワサキ	近江八幡市	0748(33)5101	⑨	25	
仏壇	彦根仏壇★	彦根仏壇事業(協)	彦根市	0749(24)4022	国	17	
	浜仏壇	浜仏壇工芸会	長浜市	0749(62)2414	①	13	
	鍔金具	辻清	長浜市	0749(62)3368	④	14	
和紙・文具・その他	近江雁皮紙	(有)成子紙工房	大津市	077(549)0323	②	30	
	雲平筆	筆師第15世藤野雲平	高島市	0740(32)0236	①	34	
	和ろうそく	(有)大與	高島市	0740(22)0557	②	35	
		北村雅明	長浜市	0749(62)1074	⑥		
	太鼓	正木専治郎	愛荘町	0749(43)3072	②	21	
		二代目杉本才次		0749(43)5504			
	大津絵	高橋松山	大津市	077(524)5656	②	31	
	長村梵鐘	(株)金壽堂	東近江市	0749(45)0003	⑪	22	
	小幡人形	細居源悟	東近江市	0748(48)4075	⑤	23	
	愛知川びん細工手まり	伝承工芸愛知川びん細工手まり保存会	愛荘町	0749(42)4114	⑨	21	
	いぶし鬼瓦	美濃邊鬼瓦工房	大津市	077(578)5333	⑩	31	
神輿	(株)さかい	野洲市	077(587)1178	⑩	28		
江州よしすだれ	(株)タイナカ よし藤田井中憲一	東近江市	0748(45)0336 0748(45)0165	⑪	23		

※1 原田和装(株)方

※2 近江真綿工房 原田方

- 1) ★は、経済産業大臣指定の伝統的工芸品
 2) 経済産業大臣指定: 3品目、3件 / 行事指定: 37品目、43件
 3) 滋賀県伝統的工芸品指定の変遷
 ① 第1次指定(昭和59年度): 18品目、28件
 ② 第2次指定(昭和60年度): 18品目、22件
 ③ 第3次指定(昭和61年度): 4品目、4件
 ④ 第4次指定(平成3年度): 4品目、4件 / 解除: 3品目、4件(竹刀、下田焼、木製桶)
 ⑤ 第5次指定(平成6年度): 3品目、3件 / 解除: 6品目、6件(高宮ささら、和ろうそく、提灯、揉唐紙、竹かご、多賀杓子)
 ⑥ 第6次指定(平成10年度): 3品目、3件 / 解除: 2品目、3件(竹刀、鍔金具)

- ⑦ 第7次指定(平成14年度): 3品目、3件 / 解除: 3品目、4件(網織紬、高島虎斑石硯、竹製花籠)
 ⑧ 第8次指定(平成18年度): 2品目、2件 / 解除: 4品目、5件(江州燈籠、竹皮細工、提灯、網織紬)
 ⑨ 第9次指定(平成22年度): 2品目、2件 / 解除: 3品目、3件(八田焼、竹刀、甲良白)
 ⑩ 第10次指定(平成26年度): 2品目、2件 / 解除: 4品目、4件(本藍染、高島虎斑石硯、和ろうそく、八幡瓦(鬼瓦))
 ⑪ 第11次指定(平成30年度): 2品目、3件 / 解除: 2品目、2件(竹根鞆細工、梵鐘)
 ⑫ 第12次指定(令和3年度): 0品目、0件 / 解除: 2品目、2件(ピロード、ろくろ工芸品)

伝統工芸士一覧

伝統工芸士は経済産業大臣指定の伝統的工芸品の製造に12年以上従事する者のうち、
 (財)伝統的工芸品産業振興協会が実施する伝統工芸士試験の合格者に与えられる称号です。
 県内の伝統工芸士は下記の方々です。(令和5年7月現在)

信楽焼

氏名	認定部門	認定年度	住所
小谷光二	成形	平成3年度	甲賀市
奥田英行(英山)	総合	平成3年度	甲賀市
富増純一(壺久郎)	総合	平成3年度	甲賀市
大原薫	総合	平成3年度	甲賀市
奥田文悟(文五郎)	総合	平成10年度	甲賀市
宇田隆和(左平)	総合	平成10年度	甲賀市
今井宏重(重蔵)	成形	平成10年度	甲賀市
小西啓吾(紫香)	成形	平成10年度	甲賀市
松本好広	成形	平成10年度	甲賀市
今井晃治(日光)	成形	平成10年度	甲賀市
谷敏隆	成形	平成10年度	甲賀市
高原誠治	総合	平成18年度	甲賀市
奥田英明	総合	平成18年度	甲賀市
小川顕三	総合	平成18年度	甲賀市
川口隆之	総合	平成18年度	甲賀市
村井信幸(信瑛)	総合	平成18年度	甲賀市
奥田康人	総合	平成18年度	甲賀市
徳地祐二	総合	平成18年度	甲賀市
嶋田浩造	総合	平成18年度	甲賀市
篠原希	総合	平成18年度	甲賀市
吉田勝	総合	平成18年度	大津市
神崎倍充	総合	平成18年度	甲賀市
谷信男	総合	平成18年度	甲賀市
今井廣(廣)	総合	平成24年度	甲賀市
小川記一	総合	平成24年度	甲賀市
藤本秀俊(藤本秀)	総合	平成24年度	甲賀市
松吉希美子(マツキチ)	総合	平成24年度	湖南市
辻周	総合	平成24年度	甲賀市
古谷剛敏	総合	平成24年度	甲賀市
釘田誠史	総合	平成24年度	三重県伊賀市
上田宗	総合	平成24年度	甲賀市
藤原純(古仙堂)	総合	平成24年度	甲賀市
大西左朗(左朗)	総合	平成24年度	草津市
上田和弘(彩煌)	総合	令和3年度	甲賀市
上田直美	総合	令和3年度	甲賀市
高瀬陽平	総合	令和3年度	甲賀市
澤井邦浩	総合	令和3年度	三重県伊賀市

近江上布

氏名	認定部門	認定年度	住所
大橋富美夫	仕上	平成16年度	東近江市
大橋政男	仕上	平成16年度	東近江市
上田美智男	仕上	平成16年度	東近江市
山面盛隆	製織	平成27年度	東近江市
西村善樹	染色	平成27年度	彦根市
長谷川佳宏	仕上	平成27年度	東近江市
東岸健太郎	仕上	平成27年度	東近江市
高井健夫	仕上	平成27年度	蒲生郡日野町
中村文郎	仕上	平成27年度	東近江市
川口のり子	意匠	平成27年度	愛知郡愛荘町
伊谷寿康	仕上	平成27年度	東近江市

彦根仏壇

氏名	認定部門	認定年度	住所
大橋和夫	木地	昭和63年度	彦根市
葉茂政宏	木地	平成5年度	彦根市
関新二郎	宮殿	平成5年度	彦根市
田中正司	宮殿	平成5年度	彦根市
寺村勇	漆塗	平成5年度	彦根市
元持久雄	漆塗	平成5年度	犬上郡豊郷町
中川龍吉	蒔絵	平成7年度	彦根市
清水隆司	漆塗	平成10年度	彦根市
宮本美弘	箔押	平成10年度	彦根市
磯部二三男	箔押	平成10年度	愛知郡愛荘町
田中洋一	金具	平成10年度	彦根市
大橋政次郎	金具	平成10年度	彦根市
舟越丈二	蒔絵	平成16年度	彦根市
木村数茂	金具	平成17年度	彦根市
細居宏次	木地	平成17年度	彦根市
北村順治	蒔絵	平成21年度	彦根市
中村隆一	箔押	平成21年度	彦根市
井尻一茂	彫刻	平成24年度	米原市
山本輝夫	蒔絵	平成24年度	東近江市
大塚勉	漆塗	平成25年度	彦根市

